

北九州市民の会ニュース

“「高齢者福祉乗車券」の実現を” 「戸畑区民の会」学習会

「憲法をくらしに生かす戸畑区民の会」は2月13日、“タクシー・JR・バス等に乗れる『高齢者福祉乗車券』の実現を”をテーマに学習会を開きました。会場の戸畑けんわ病院「会議室」には、定席一杯の40名の人が参加。



荒川徹北九州市議が「北九州市の公共交通の現状と課題」について講演、移動に制約を受ける人々の交通環境、高齢者の移動支援についての他都市の取り組み、北九州市の「おでかけ交通」の現状と課題、北九州市でも「高齢者福祉乗車券」の実現を求める運動などについて語りました。それを受けて、「『おでかけ交通』の予算はどうなっているのか」「北九州市が交通弱者に対して、本当に支援するという立場に立つよう迫っていく世論と運動が必要だ」などの質疑と意見が述べられました。戸畑けんわ病院からは、「北九州健康友の会」が行った「くらしいききアンケート」の結果、「困っていること」の回答で、買い物・通院など出かける際の交通の便を上げている人が最も多かったと紹介されました。

最後に、「戸畑区民の会」から署名運動に目標と方針が提起され、学習会参加者を先頭に署名活動に取り組むことが確認されました。（青木信恭氏より）

「八幡東区民の会」 「福祉乗車券の実現を求める」 署名・宣伝行動

2月14日(金)10:00から40分間、八幡東中央町商店街入り口で「福祉乗車券の実現を求める」署名・宣伝行動をしました。2団体11名、市議の12名でした。雨の予報もありましたが決行。署名42筆。

署名に応じてくれた人は「ぜひ実現してほ

しい。毎回中央まちで署名活動をされていて頭が下がります。がんばってください。新婦人の行動への激励。30歳の女性は署名に応えながら「政令市って何ですか?」「花尾町に住んでる。バス停から家に帰るのに歩かなければならないのでタクシーにも使えると助かります。一人暮らしなので1日1回は外出したいから」「いいですね。」杖をついた女性は「タクシーでも使えるんですか」と喜んで署名をされました。期待が大きいことが実感できた行動でした。

(八幡東区民の会 河村智重子氏より)



さよなら原発！金曜行動は384回目

2月21日(金)、さよなら原発！金曜行動384回目が取り组まれました。参加は15人と少なかったですが、参加者全員元気いっぱい「玄海原発再稼働反対!」「電気は足りている」「なくせ原発!」「原発と人間は共存できない」「さよなら原発3・8北九州集会を成功させよう」と訴えました。さよなら原発3・8北九州集会は、13:00より勝山公園で開催されますが、デ



モ行進は自粛することになりました。

平和とくらしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
Tel.093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail:koe@siminnokai.com

県革新懇世話人会議

2月22日、14:00~16:30 県労連事務所で上記会議が開催されました。30名余の参加。93歳になられる石村善治先生の元気な開会あいさつがあり、<今日の情勢と各団体の活動、及び各地域での「市民と野党の共闘」の取り組み>について経過報告がなされた後、9名の方が具体的取組とそれぞれの課題について意見発表された。<地域革新懇の再建と新規結成の取り組みについて>は、博多革新懇、北九州革新懇、大牟田革新懇、福岡市西区革新懇が具体的な状況と進展について発言。ついで、<衆議院選挙小選挙区ごとの「市民連合の結成について」>討議した。「福岡県民の会」からは、市民と野党の共闘時代にふさわしい元気ある県民の会活動を目指す方針案（定期総会で決定）などが説明された。最後に2019年度決算と2020年度予算案が採択された。「フクシマで何が起きたか、そして今、どうなっているのか」という冊子（一部300円）が紹介された。



感染症対策で、イベントが中止・延期

- 2月29日(土) 14:00「八幡市民会館の活用を求める連絡会」と「八幡東市民の会」共催 講演と報告会 大谷市民センターは中止になりました。
 - 3月1日(日) 14:00 市政懇談会 A I Mビル は、中止になりました。
 - 3月13日(金) 18:15 リーガロイヤルホテル 「市職労退職者を励ます集い」は中止になりました。
 - 3月14日(土) 13:30~16:00 「小倉タイムスを支援する会第2回総会」は延期になりました。
 - 3月15日(日) 福岡県総がかり実行委員会の県民集会は中止になりました。
 - 4月・5月・6月の第2、4木曜日に予定されていた「楽しく科学的社会主義を学ぼう」大手町地域交流センターは秋季講座を目指し延期されました。
- その他、中止・延期が次々と発表されています。

日本共産党北九州市議団が北橋市長に 感染防止対策申し入れ

2020年2月28日

北九州市長
北橋 健治 様

日本共産党北九州市議員団
団長 石田 康高

新型コロナウイルスによる感染防止対策等に関する申し入れ

貴局におかれましては、市民福祉の向上にご尽力いただいておりますことに、心より敬意を表します。

さて、新型コロナウイルスによる世界的な流行の広がり、本市においても市民の不安が高まっています。国の「専門家会議」は、「これから1~2週間が、急速な拡大に進むか、収束できるかの瀬戸際となる」との見解を公表し、警戒を呼びかけています。事態の深刻化を食い止めるには、検査・医療体制の確立・拡充をはじめ、状況の進展にふさわしい迅速で実効性のある対応に本課を入れることが重要であり、国民の命と健康を守るために、国は責任をもって十分な財政措置を取ることが不可欠です。アメリカでは、大統領が約2,800億円の予算増額を掲げるよう議会に要求しました。シンガポール政府は約5,000億円、香港政府も約4,300億円を、それぞれ経済的支援を済む経費として投入すると発表しています。一方、安倍内閣は、予算費103億円を含む総事業費153億円しか準備していません。わが国は、政府に対し抜本的な対応と補正予算などの財政措置を強化することを求めてきましたが、引続き必要な対応を強く要求するものです。同時に、市民に最も近い本市行政にも、機動的な対応が求められています。

また、国が全国全ての小中学校、高校、特別支援学校を臨時休校するよう呼びかけましたが、保護者や学校現場に戸惑いも広がっています。

ついで、市民のいのちと健康を最優先に、感染拡大防止と検査・治療体制の抜本的な拡充により、市民の不安に寄り添った対応をとることを求めて、下記のように申し入れます。

記

- 一、市として国に対し、新型コロナウイルス対策費として、現時点で2,743億円もっていると言われている今年度の国の予算費を全面的に活用するとともに、国が対策費が全く計上されていない案件で予算案を修正して財源を確保し、本市を含めた全国の自治体への財政支援を明確に示すよう、強く要請すること。国として責任をもって感染拡大防止などを取りまとめ、情報を速やかに公開して、国民に伝える方針をとるよう、強く要請すること。
- 二、市として、市民の不安に 대응するために正確な情報提供に努めるとともに、相応の対応するスタッフの増員と電話対応の増強によって相談体制をさらに強化すること。感染の早期発見と、拡大防止の手立てとして、医師の診断が必要があると科学的に判断したら速やかに検査が行えるよう、大学や病院検査機関などの力を結集し、PCR検査の実施体制を整えつつ本課に拡充すること。

さよなら原発金曜行動

18:00~19:00

小倉駅デッキ

3月20日、3月27日